

題材名 『Daily Scene 2 手紙』 (第3学年) 全4時間計画

題材のねらい

外国の有名人にファンレターを書くことができる。

題材構想

本題材では、既習表現を活用し、自分の好きな外国の有名人にファンレターを書き郵送するというオーセンティックな言語活動*を設定しました。つかむ過程では、題材の課題を提示し、試しの活動を行い、どのようにファンレターを書けばよいか考えさせます。追究する過程では、互いのファンレターを読み合う活動や教科書のモデル文を確認する活動を通して、ファンレターの内容や表現についての質を高めます。まとめる過程では、実際にファンレターを書き上げ郵送します。このような明確な目的・場面・状況を設定することで生徒が意欲的に既習表現を活用してファンレターを書き、郵送できたという達成感を得られるよう題材を構想しました。

*英語を使う必用のある実在する相手と、実際の目的をもって行う言語活動

| 過程 | 主な学習活動 | 課題提示の工夫と主体性の喚起 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| つかむ(1) | 1. どんな内容のファンレターを書けばよいか考える ○帯活動を行う。 ○題材の課題をつかむ。 (外国の有名人にファンレターを書こう。) ○誰にファンレターを書くのか決める。 ○「試しの活動」を行う。 ・どのようにファンレターを書けばよいか、内容面、言語面から考える。 ○参考になる内容や表現について全体で共有する。 ○本時の振り返りをする。(CAN-DOリストを基に) | TTでのOral Introductionや、生徒とのやり取りを通して、自然に課題を提示する。また、昨年度実際に送られてきたファンレターの返事を見せることで、生徒の主体性を喚起する。 |
| | 2. 互いのファンレターを読み合い、共有する ○帯活動を行う。 ○ファンレターを互いに読み合う。 ○活動後の気付きから自分のファンレターを改善する。 ○本時の振り返り (CAN-DOリストを基に) 3. 教科書のモデル文を確認する。 ○帯活動を行う。 ○教科書の内容を確認する。 ○教科書確認後の気付きから自分のファンレターを改善する。 ○改善したファンレターについてグループで共有する。 ○本時の振り返りをする。(CAN-DOリストを基に) ↓生徒の振り返り (CAN-DOリストコメントより) たくさんの表現を、友達や教科書から学び、実際に活用することができました。自分の思いを伝えられるようなファンレターにしたいです。 友達のファンレターや教科書のモデル文を参考にして、自分のファンレターを改善できた。友達のファンレターには参考になる内容や表現がたくさんあった。モデル文よりファンレターの最後をどのように書けばよいか分かった。 | 試しの活動 既習表現を基に、自分で考えてファンレターを書かせる「試しの活動」を行い、内容面と言語面で今後どのような工夫が必要か見通しをもたせる。 中間評価 「試しの活動」の途中で、内容面や言語面で工夫の見られる生徒をモデルとして示すことで、生徒一人一人の内容や表現の質を高めさせる。 |
| 追究する(2) | 4. ファンレターを書き上げる。 ○ファンレターを書き上げる。(清書) ○ファンレターに宛名・住所を書く。 ○本題材の振り返りをする。↓生徒が書いたファンレター一部 Dear Jeter My name is~. I'm a J.H.S. student in Japan. I have played baseball since I was six. Your fielding and hitting are so cool. I wanted to watch your baseball game in New York. ... I want to be a great person like you. Could you please send me a signed photograph? I have been your biggest fan. ... | 題材の課題に迫る帯活動 自分がファンレターを書いた人物についてペアで紹介し合ったり、質問し合ったりする活動を設定することで、ファンレターに盛り込む内容や表現に気付きさせる。 互いのファンレターの共有 「試しの活動」で書いた互いのファンレターを読み合わせることを通して、内容面、言語面から互いのよさに気付きさせる。 →気付きについては、メモ用紙に記入させる。 →自分のファンレター(下書き)を改善させる。 |
| | | 教科書の活用 教科書本文の確認を通して、基本的なファンレターの書き方について理解させる。 →気付きについては、メモ用紙に記入させる。 →自分のファンレター(下書き)を改善させる。 |
| まとめる(1) | | 生徒同士の学び合い 互いのファンレターを読み合わせたり、教科書のモデル文を確認したりした後は、ペアやグループで互いの気付きを出し合わせ、内容面と言語面について生徒同士で学び合い、ファンレターを改善できるよう支援する。 |
| | | オーセンティックな言語活動からくる充実感 外国の有名人に実際にファンレターを書くというオーセンティックな言語活動を設定することで、既習表現を活用できた充実感、達成感を味わわせる。 |
| | | 題材の学びの自覚 言語面と内容面で振り返りを行わせ、何ができるようになったか、新たに気付いたことは何かを自覚させる。 |

指導例：『Daily Scene2 手紙』（第3学年 第1時）

1 あいさつ・帯活動をする。

OT1, T2で“Who is your favorite foreign person?”について会話する。

T1: Who is your favorite foreign person?

T2: My favorite foreign person is~.

T1: Why do you like~? ...

○同じ内容について一分間ペアで会話する。

T1: OK. Next your turn. Please talk about this topic. Start!

S1: Who is your favorite foreign person?

S2: I love~.

S1: Why do you like him/her? ...

2 題材の課題をつかむ。

OT1, T2の会話及び生徒とのやり取りから題材の課題を把握する。

T1: Have you ever written a fan letter?

T2: No, I haven't. How about you?

T1: Yes, I have. Last year I wrote a fan letter with my students

T2: Wow! Please tell me more.

T1: In English classes, we wrote and sent it.

We could get many responses.

T2: Really? Please show them to us. It's great! I want to write.

How about you, everyone?

S: I want to write a fan letter, too!

T1: Good! Have you ever written a fan letter?

S: Yes. / No.

T1: In this unit, let's write a fan letter to famous foreign persons!

S: Yes. ! / Really!!

【題材の課題】

外国の有名人にファンレターを書こう。

3 本時のめあてをつかむ

T1: Did you decide the person you want to write a fan letter to?

S: Yes.

T1: OK. Today let's write a fan letter.

What do we need to write about?

Please think about the contents.

And use expressions you've already learned.

【本時のめあて】

どのようにファンレターを書けばよいか考えよう。

4 本時の活動に取り組む

○内容面・言語面共に、各自の思考を大切に、モデル文は与えずに既習表現を活用して書く。【試しの活動】

○内容面・言語面から参考になる表現を全体で共有する。

5 本時のまとめ・振り返りをする。

○「どのようにファンレターを書けばよいか考えられたか」振り返る。

○内容面、言語面から振り返る。(CAN-DOリストを基に)

S: ファンレターを書くのに簡単な自己紹介を入れる必要があることが分かった。【内容面】

S: 好きになった理由や自分の気持ちを伝えることが重要だと分かった。

【内容面】

S: どんな表現を活用しファンレターを書けばよいか自分なりに考えることができた。【言語面】

S: これからファンレターの構成や使える表現について学んでいきたい。

【内容面・言語面】

題材の課題に迫る帯活動

- 既習表現を活用させることで、生徒の意欲を喚起する。
- 題材の課題に迫る内容にすることで、課題の理解を促す。

題材の課題提示の工夫
生徒の主体性の喚起

- T2や生徒とのやり取りを通して、自然の会話の中で課題を提示できるようにする。
- 昨年度、生徒がファンレターを送った際に返信された手紙を実際に見せることで、生徒の意欲を喚起する。
- オーセンティックな言語活動を設定することで、生徒が主体的に既習表現を活用できる場面を設定する。

試しの活動

- 試しの活動を通して、まずは自分で考えて表現させ、内容面と言語面を今後どのように工夫していけばよいか、追究する活動に見通しをもたせる。

中間評価

- 「試しの活動」の途中で、内容面や言語面で工夫の見られる生徒をモデルとして示すことで、生徒一人一人の内容や表現の質を高める。

振り返りの工夫

- 「できるようになったこと」や「気付いたこと」を中心に、内容面・言語面から振り返らせる。

指導例：『Daily Scene2 手紙』（第3学年 第2時）

1 あいさつ・帯活動を行う。

○My favorite foregin personについてペアで紹介し合い、その後QAを行う。

T :Please talk with your partner. First, introduce your favorite foregin person. Second, ask some questions about him/her.

S1:My favorite foregin person is Johnny Depp.

He's a very famous actor.

There are many famous movies like "Pirates of the Caribbean."

I've watched his movies many times. I like his performances.

S2:What movie do you like the best?

How many times have you watched "Pirates of the Caribbean."?

2 本時のめあてをつかむ。

○生徒とやり取りしながら前時の学習を振り返り本時のめあてを伝える。

T :Last class, you wrote a fan letter. Can you finish writing?

S :Almost...

T :You thought about the contents. What did you write about?

S :I wrote my self-introduction and why I like him/her.

T :Good! I know many students in this class have never written a fan letter. So it's a little difficult for you.

Today, let's share your fan letters with each other.

You can learn many things from your friends' fan letters.

【本時のめあて】

互いのファンレターを読み合う活動を通して、文章構成を推敲したり、表現を付け加えたりしよう。

3 本時の活動に取り組む。

①友達の書いたファンレターを互いに読み合う。

T :OK. First, Please read your friend's fan letters.

After reading, please write memos on your notebooks.

②活動後の気付きについて全体で共有する。

T :友達のファンレターから参考になったところはありませんか。

S :友達のファンレターを読んで、どの程度自己紹介文を書けばよいか参考になった。

S :文章構成についてもいろいろな書き方があり参考になった。

S :表現について多くの既習表現が使われていて、参考になるものがたくさんありました。

③自分のファンレターに本時の気付きを書き加える。

T :本時の気付きからファンレターを改善しましょう。

表現について訂正してもかまいません。色ペンを活用してください。

5 本時まとめ・振り返りをする。

○「友達のファンレターを参考にし、訂正したり付け加えたりすることができたか」を振り返る。

○内容面、言語面から振り返る。(CAN-DOリストを基に)

S :友達のファンレターを読んで、多くの文章構成があり参考になった。

【内容面】

S :友達が使っていた表現を自分のファンレターにも活用することができた。【言語面】

本時のめあてに迫る帯活動

- 前時の学習内容や既習表現を生かせる内容を設定することで、生徒の意欲を喚起する。
- リアクションや質問を通し、やり取りを継続するよう促す。

めあての提示の工夫

- 生徒とのやり取りを通し、前時の学習内容を振り返らせながら、本時のめあてを提示するようにする。

互いのファンレターの共有

- 多くの友達のファンレターを読ませることで、内容や表現についてのより多くの気付きを促す。

メモの活用

- 気付いた内容や表現をメモさせることで、必要な情報や気付きを書きためさせる。

生徒同士の学び合い

- 活動後は、互いの気付きを全体で共有させる場面を設定し、生徒自身が自分のファンレターを加除訂正できるようにさせる。

振り返りの工夫

- 「できた」や「気付いた」ことを実感させることで、達成感をもたせる。
- 内容面と言語面で振り返らせる。

指導例：『Daily Scene2 手紙』（第3学年 第3時）

1 あいさつ・帯活動を行う。

○ファンレターについてペアで紹介し合い、気付いたことについて感想を述べ合う。

T : Today Please read your fan letter to your partner.
And talk about your opinions each other.

S1: Hello, my name is~. I'm a 15-year-old Japanese junior high school student. I have watched your movies many times. Especially, I love "Pirates of the Caribbean". I've watched it more than 10 times. ...

S2: 自己紹介や好きになった理由などが分かりやすくいいね。ただ、ファンレターの終わり方はどうするといいのかな。 ...

2 本時のめあてをつかむ。

○生徒とやり取りしながら前時の学習を振り返り本時のめあてを伝える。

T : Last class, you read your friends' fan letters. How was it?

S : That's good! I learned about the contents and expressions.

T : You learned many things, and your fan letter became better.

Today we'll check the textbook.

Let's learn how to write a fan letter and expressions.

【本時のめあて】

教科書を基に、ファンレターの構成や使われている表現について確認し、文章構成を推敲したり、表現を付け加えたりしよう。

3 本時の活動に取り組む。

①教科書の内容を確認する。

T : 教科書から参考になったところがありましたか。

S : ファンレターの最後の書き方が分かりました。

S : ファンレターに質問文を入れることができると分かった。

S : 現在完了など使われていて参考になった。

②自分のファンレターを本時の気づきを基に改善する。

③教科書を基にして修正したファンレターについてグループで共有する。

5 本時のまとめ・振り返りをする。

○「教科書を参考にし、修正したり付け加えたりすることができたか」を振り返る。

○内容面、言語面から振り返る。(CAN-DOリストを基に)

S: 教科書を確認し、ファンレターの構成について確認できた。【内容面】

S: 活用できる表現を教科書の本文から見付けられた。【言語面】

本時のめあてに迫る帯活動

- 前時の学習内容や既習表現を生かせる内容を設定し、やり取りが活発になるようにする。
- 感想やアドバイスを話させることで、互いにファンレターの内容面での質を高められるようにする。

めあての提示の工夫

- 生徒とのやり取りを通し、前時の学習内容を振り返らせながら、本時のめあてを提示する。

教科書の活用

- 教科書のモデル文を確認することを通して、内容面・言語面から参考になるものに気付かせる。

ファンレターの改善

- 気付いたことを基に、自分のファンレターを訂正したり、書き加えたりさせる。

生徒同士の学び合い

- 訂正したファンレターをグループで共有することを通して、内容や表現についての質を高めさせる。

振り返りの工夫

- 「できた」や「気付いた」ことに着目させることで、達成感をもたせる。
- 内容面と言語面で振り返らせる。

指導例：『Daily Scene2 手紙』（第3学年 第4時）

1 あいさつ・帯活動を行う。

○ファンレターについてペアで紹介し合い、前時のファンレターと比べて、修正・改善された点について感想を述べ合う。

T : Last class, we checked the textbook.
You read a model fan letter, and learned many expressions.
So your fan letter got better. Did you finish writing?

S : Almost!

T : Today, let's read your fan letter to your partner.
And please talk about your fan letters each other. ...

S : 教科書を参考に質問文が入れたのがいいね。

S : 最後の終わりの部分、教科書を参考にしておくよかったね。

2 本時のめあてをつかむ。

○生徒とやり取りしながら前時の学習を振り返り、本時のめあてを伝える。

T : In this Unit, you wrote a fan letter to your favorite foreign person. Was it difficult?

S : Yes. But I could write it by myself.

T : First, you wrote a fan letter by yourself.
Second, what did you do?

S : We shared our fan letters with our friends.

T : Yes. You learned more contents and expressions from your friends. Next, what did you do?

S : We checked the textbook. We noticed many things.

T : Right! You thought about contents and added many expressions
Today finish writing your fan letters. OK?

S : OK!

【本時のめあて】

これまでに学習したことを振り返り、ファンレターを書き上げよう。

3 本時の活動に取り組む。

①これまでの学習を基にファンレターを書き上げる。

②封筒に宛名・住所を書き、郵送できる状態にする。

T : ファンレターの宛名を書きましょう。

S : 住所の書き方が日本とは違うんだったな。

T : 書き上げたら提出してください。学校から一括して送付します。

5 単元全体の振り返りをする。

○「自分のファンレターが、初めに書いたもの比べ、どのように変化したか」を振り返る。

○内容面、言語面から振り返る。(CAN-DOリストを基に)

S : 初めに書いたファンレターよりも内容的に深まった。【内容面】

S : 友達のファンレターや教科書のモデル文を参考に、初めよりも多くの既習表現を活用できた。【言語面】

本時のめあてに迫る帯活動

- ペアでファンレターを紹介させて、モデル文を学習した後の改善点について気付かせる。
- 前時の学習内容を確認させ、互いのファンレターに生かせるようペアで交流させる。

めあての提示の工夫

- 生徒とのやり取りを通し、単元の学習内容を振り返らせながら、本時のめあてを提示する。

オーセンティックな言語活動

- 追究する活動で書きためたメモを見直させ、ファンレターを書き上げられるようにする。
- ファンレターの送付先の住所を封筒に書き、送付できる状態にすることで、これまでの学習を振り返り、ファンレターを書き上げることができた達成感を感じさせる。

単元全体の振り返り

- 単元全体を通して、内容面・言語面で振り返りを行わせ、何ができるようになったか、新たに気付いたことを自覚させる。
- 試しの活動での作品と比較させることで、これまでの学習の成果を感じさせる。

外国語科学習指導案

令和元年6月 第3学年 指導者 須藤 陽介 (T1)

福島 美由紀 (T2)

I 題材名 NEW HORIZON English Course 3 Daily Scene 2「手紙」

II 学習指導要領上の位置付け

第2章 外国語科の目標及び内容

第2節 英語

1 目標 (5)書くこと

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

2 内容 (2)

ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。

内容 (3)

カ 書くこと

(イ) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。

III 目標

以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。

ア 既習の表現を活用して、ファンレターを書くことができる。

(知識及び技能)

イ 友達の書いたファンレターや教科書のモデル文を参考に、内容について考えたり、表現を活用したりしながら、ファンレターを書くことができる。

(思考力、判断力、表現力等)

ウ 外国の有名人について関心をもち、意欲的にファンレターを書いている。

(学びに向かう力、人間性等)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開 (1/4)

1 ねらい 既習の表現を活用し、ファンレターを書く活動を通して、どのようにファンレターを書けばよいか内容や表現について意欲的に考えようとしている。

2 展開

| 学習活動 (分) | ○ : 留意点 | 点線囲 : 評価 | ☆ : 振り返りの子供の意識 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------|----------------|
| <p>1 あいさつ・帯活動を行う。(5分)</p> <p>○T1・T2で'Who is your favorite foreign person?'について会話する。</p> <p>○同じお題について1分間ペアで会話をさせる。</p> | | | |
| <p>2 題材の課題をつかむ。(5分)</p> <p>○T1とT2の会話を基に題材の課題を伝える。</p> <p>○先輩が書いた外国の有名人へのファンレターの返信を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>題材の課題 外国の有名人にファンレターを書こう。</p> </div> | | | |
| <p>3 本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p>○先輩がファンレターを出した有名人や、事前に調査した好きな外国の有名人についてのアンケート結果を紹介する。</p> <p>○ファンレターを出す相手を決めた後、本時のめあてを生徒に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>めあて どのようにファンレターを書けばよいか考えよう。</p> </div> | | | |
| <p>4 本時の活動に取り組む (30分)</p> <p>(1) 既習表現を使って、ファンレターを書く。*【試しの活動】</p> <p>○既習表現を使ってどのようなファンレターが書けるか問い掛ける。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(2) 書いたファンレターを共有する。</p> <p>○机間支援の中で内容的・表現的によいものを全体に紹介する。</p> <p>○一人で活動することが難しい生徒もいるので友達と考えを共有させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>外国の有名人に自分の気持ちを伝えるために、意欲的にファンレターを書く活動に取り組んでいる。 〈ワークシート・CAN-DOリスト(1)〉</p> </div> | | | |
| <p>4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)</p> <p>○どのようにファンレターを書けばよいか考えられたか問い掛ける。</p> <p>☆ファンレターを書くのに簡単な自己紹介を入れる必要があることが分かった。【内容面】</p> <p>☆好きになった理由や自分の気持ちを伝えることが重要だと分かった。【内容面】</p> <p>☆どんな表現を活用しファンレターを書けばよいか、自分なり考えることができた。【言語面】</p> <p>☆これからファンレターの構成や使える表現について学んでいきたい。【言語面】</p> | | | |

*試しの活動とは、つかむ過程において既習事項だけで単元や題材の課題に取り組む活動のことです。

V 本時の展開 (2/4)

- ねらい 互いのファンレターを読み合う活動を通して、互いの内容や表現を共有し、自分のファンレターを修正したり、書き加えたりできるようにする。

2 展開

| 学習活動 (分) | ○ : 留意点 | 点線囲 : 評価 | ☆ : 振り返りの子供の意識 |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------------|
| 1 あいさつ・帯活動を行う。(5分) | ○My favorite foreign personについてペアで紹介し合い、その後QAをして会話を継続させる。 ○質問やリアクションをとりコミュニケーションを続けるよう助言する。 | | |
| 2 本時のめあてをつかむ。(5分) | ○生徒と英語でやり取りをしながら前時の学習を振り返り、本時のめあてを生徒に伝える。 めあて 互いのファンレターを読み合う活動を通して、文章構成を推敲したり、表現を付け加えたりしよう。 | | |
| 3 本時の活動に取り組む。(35分) | (1) 友達の書いたファンレターを互いに読み合う。 ○多くの友達のファンレターを読むことができるよう班編制をする。 ○読み終えた後に、内容的・表現的に参考となるものについてメモを取る時間を設ける。 | | |
| | (2) 活動後の気付きについて全体で共有する。 ○参考となる内容及び表現について取り上げ、全体に紹介する。 ○机間支援で生徒のメモを確認しておき、よい気付きが見られた生徒の表現を意図的な指名により紹介する。 | | |
| | (3) 自分のファンレターに本時の気付きを書き加える。 ○自分のファンレターを修正したり、付け加えたりする際は、色ペンを活用させる。 | | |
| | 友達のファンレターを基に、必要に応じてファンレターを修正したり、書き加えたりすることができる。 〈ワークシート・CAN-DOリスト ((2)イ)〉 | | |
| 4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分) | ○友達のファンレターを参考にし、修正したり付け加えたりすることができたか問い掛ける。 ☆友達のファンレターを読んで文章構成について参考になった。【内容面】 ☆友達が使っていた表現を自分のファンレターにも活用することができた。【言語面】 | | |

V 本時の展開（3／4）

1 ねらい 教科書のモデル文を確認することで、自分のファンレターの内容や表現を修正したり、書き加えたりできるようにする。

2 展開

| 学習活動（分） | ○：留意点 | 点線囲：評価 | ☆：振り返りの子供の意識 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------|--------------|
| <p>1 あいさつ・帯活動を行う。（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○互いのファンレターをペアで紹介させる。 ○気付いた点について意見交換させる。 | | | |
| <p>2 本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒と英語でやり取りをしながら前時の学習を振り返らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 教科書を参考に、ファンレターの構成や使われている表現について確認し、文章構成を推敲したり、表現を付け加えたりしよう。</p> </div> | | | |
| <p>3 本時の活動に取り組む。（35分）</p> <p>（1）教科書の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書を音読させ、内容理解するよう促す。 ○教科書本文ではどの程度の自己紹介をしているか確認させる。 ○教科書の表現について注目させ、自分のファンレターに活用できるものを引用させる。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>（2）自分のファンレターに本時の気づきを書き加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書から得た内容や表現から、自分のファンレターを修正したり、書き加えたりさせる。 ○自分のファンレターを修正したり、付け加えたりする際は、色ペンを活用させる。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>（3）教科書を基にして修正したファンレターについてグループで共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○訂正したファンレターをグループで発表させる。 ○机間支援をして、内容や表現に工夫の見られる生徒数名に全体で発表させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>教科書のモデル文を参考に、必要に応じてファンレターを修正したり、書き加えたりすることができる。 〈ワークシート・CAN-DOリスト（(2)イ）〉</p> </div> | | | |
| <p>4 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書を参考にし、修正したり付け加えることができたか問い掛ける。 ☆教科書を確認し、ファンレターの構成について理解できた。【内容面】 ☆教科書から活用できる表現を確認することができた。【言語面】 | | | |

V 本時の展開 (4 / 4)

1 ねらい これまでの学習活動を振り返ることを通して、ファンレターを書き上げることができるようにする。

2 展開

| 学習活動 (分) | ○ : 留意点 | 点線囲 : 評価 | ☆ : 振り返りの子供の意識 |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------------|
| 1 あいさつ・帯活動を行う。(5分) | ○互いのファンレターをペアで紹介させる。 ○前時のファンレターと比べて、修正・改善された点を伝え合わせる。 | | |
| 2 本時のめあてをつかむ。(5分) | ○生徒と英語でやり取りをしながら前時の学習を振り返らせる。 めあて これまでに学習したことを振り返り、ファンレターを書き上げよう。 | | |
| 3 本時の活動に取り組む。(35分) | (1) これまでの学習を基に推敲・修正・付け加えをしてきたファンレターを書き上げる。 ○これまでの学習を振り返らせ、ファンレターの清書をさせる。 | | |
| | (2) 封筒に宛名を書き、郵送できる状態にする。 ○宛名の書き方について説明し、宛名を書かせる。 | | |
| | ファンレターの書き方の知識を身に付け、既習の表現を活用し、まとまりある文章構成で、外国の有名人にファンレターを書くことができる。 〈ワークシート・CAN-DOリスト(2)ア・(3)〉 | | |
| 4 単元全体の振り返りをする。(5分) | ○自分のファンレターが、初めに書いたものと比べ、どのように変容したか問い掛ける。 ☆初めに書いたファンレターよりも内容的に深まった。【内容面】 ☆友達のファンレターや教科書のモデル文を参考に、初めよりも多くの既習表現を活用できた。 【言語面】 | | |

| | | | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標 | 以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。 ア 既習の表現を活用して、ファンレターを書くことができる。(知識及び技能) イ 友達の書いたファンレターや教科書のモデル文を参考に、内容について考えたり、表現を活用したりしながら、ファンレターを書くことができる。(思考力、判断力、表現力等) ウ 外国の有名人について関心を持ち、意欲的にファンレターを書いている。(学びに向かう力、人間性等) | | |
| 評価規準 | (1)外国の有名人に自分の気持ちを伝えるために、意欲的にファンレターを書く活動に取り組んでいる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) (2)ア 既習の表現を活用し、まとまりある文章構成で、外国の有名人にファンレターを書くことができる。 (外国語表現の能力) イ 友達のファンレターや教科書のモデル文を参考に、必要に応じてファンレターを訂正したり、書き加えたりすることができる。 (外国語表現の能力) (3)ファンレターの書き方についての知識を身に付けている。(言語や文化についての知識・理解) | | |
| 過程 | 時間 | ○ねらい ①めあて | ☆振り返り(意識) ◇評価項目 <方法(観点)> |
| つかむ | 1 | 《 題材の課題 》 ◎外国の有名人にファンレターを書こう。 ○既習の表現を活用し、ファンレターを書く活動を通して、どのようにファンレターを書けばよいか内容や表現について意欲的に考えようとしている。 どのようにファンレターを書けばよいか、考えよう。 | ☆ファンレターを書くのに簡単な自己紹介を入れる必要があることが分かった。 ☆好きになった理由や自分の気持ちを伝えることが重要だと分かった。 ☆どんな表現を活用しファンレターを書けばよいか、自分なり考えることができた。 ☆これからファンレターの構成や使える表現について学んでいきたい。 |
| 追究する | 1 | ○互いのファンレターを読み合う活動を通して、内容や互いの表現を共有し、自分のファンレターを修正したり、書き加えたりできるようにする。 互いのファンレターを読み合う活動を通して、文章構成を推敲したり、表現を付け加えたりしよう。 | ☆友達のファンレターを読んで文章構成や表現について参考になった。 ☆友達が使っていた表現を自分のファンレターにも活用することができた。 |
| まとめる | 1 | ○これまでの学習活動を振り返ることを通して、ファンレターを書き上げることができるようにする。 これまでに学習したことを振り返り、ファンレターを書き上げよう。 | ☆初めに書いたファンレターよりも内容的に深まった。 ☆友達のファンレターや教科書のモデル文を参考に、はじめよりも多くの既習表現を活用できた。 |
| | | ◇外国の有名人に自分の気持ちを伝えるために、意欲的にファンレターを書く活動に取り組んでいる。 <ワークシート ・CAN-DOリスト(1)> | |
| | | ◇友達のファンレターを基に、必要に応じてファンレターを修正したり、書き加えたりすることができる。 <ワークシート ・CAN-DOリスト((2)イ)> | |
| | | ◇教科書のモデル文を参考に、必要に応じてファンレターを修正したり、書き加えたりすることができる。 <ワークシート ・CAN-DOリスト((2)イ)> | |
| | | ◇ファンレターの書き方の知識を身に付け、既習の表現を活用し、まとまりある文章構成で、外国の有名人にファンレターを書くことができる。 <ワークシート ・CAN-DOリスト((2)ア)・(3)> | |